

B & G 全国ジュニア水泳競技大会 4 連覇達成の秘密とは？

B & G 長島町海洋センター（三重県）

8月30日（土）に兵庫県の「やしろ会館」で開催された 2003 B & G 全国ジュニア水泳競技大会は、三重県チーム（三重県連絡協議会）が 4 連覇達成を遂げて終了しました。同チームには 60 名の選手が名を連ねましたが、そのうち 25 名は B & G 長島町海洋センターの所属でした。



4 連覇の三重県チーム。中央は B & G 財団広渡専務（左）と大島常務

「例年、30 名ほどの選手を送り出していますが、今年は中学の県大会と重なったため若干参加者の数が減りました」（B & G 長島町海洋センター・伊藤所長）。

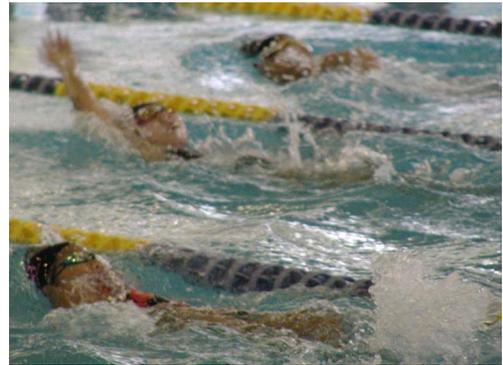
とは言うものの、三重県チームの半数近くを占めた同海洋センター所属選手の活躍は見逃せません。4 連覇達成の秘密を尋ねると、「練習の賜というほかはありません」と、いたってシンプルが答えが返ってきました。

温水プールではないものの、同海洋センターでは 3 月中旬から練習をはじめ、12 月になるまで続けています。

「毎日、20 人から 30 人ほどの子供たちが練習にやって来ます。100 名ぐらいが登録しているので競争意識が高く、B & G 全国ジュニア水泳競技大会に参加できなかった子供たちは、来年こそと頑張ります。中学生には県大会などの大きな試合が用意されていますが、小学生にとっては B & G 全国ジュニア水泳競技大会が唯一の目標になっているのです。春先に、『今年の大会は、どこでやるの？』と聞いてくる子も少なくありません」



会場でひととき目立った赤色のシャツ。
三重県連絡協議会の4連覇の影に大応援団あり！



ジュニアスイマーの祭典として知られている本大会。今年は、9県26センター、192名の選手が参加して44競技が行われました

県下の海洋センター・クラブが集まって合同大会を毎年開催していることも、子供たちには励みになっているようで、今年は9月14日に行われ、185名もの参加者で賑わったそうです。

「県下の海洋センター・クラブ同士で、常に交流が続けられています。そのため、他の海洋センター・クラブの子たちと友だち同士になっているケースが多く、おたがいに刺激しあっているようです」

水泳への関心は町中で高く、プールの稼働率は全国480カ所ある海洋センターのなかでも常にトップクラスを維持しています。

「確かに、うれしい悲鳴が続いていますが、最近の傾向としては中学生になって、やめる子の数も増えてきました。塾などで忙しくなったり、学校が遠くなったりすることが理由のようですが、女の子の場合は水着になるのが恥ずかしくなったという声も聞かれます」

ひと握りの強い選手を育てるのではなく、みんなに水泳を上達してもらいたいと、伊藤所長。そのためには、よりよい環境をつくらなければなりません。予算の問題が出てくるものの、監視員の体制をより充実させながら教室のメニューを増やしていきたいと、伊藤所長はさらなる抱負を語っていました。